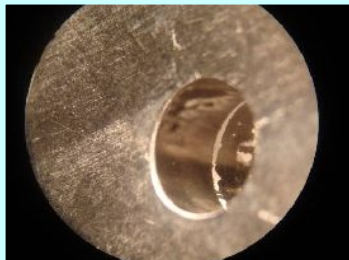


## イブプロフェン+マンニトール+アイロジル高打圧打錠試験(賦形剤増量)

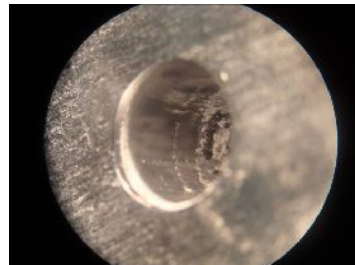
目的	マンニトール含有量を増加させ、付着量の変化を観察する。
使用薬剤	イブプロフェン30%、マンニトール70%、アイロジル0.5%
使用臼	フッ素複合メッキ、通常メッキ、超硬合金 以上3種類
錠剤硬度	60-65N
錠剤時間	40rpmで25分間行った。
打圧	本圧上ロール:500kgf 本圧下ロール:460kgf 予圧上ロール:50kgf 予圧下ロール:80kgf 押上圧力:16kgf
試験方法	①表面処理の異なる杵を、タブレットマシンを使用して高打圧にて打錠する。 ②打錠時間を均一に設定して打錠する。 ③打錠後、顕微鏡にて杵打錠面を観察する。

### 試験結果

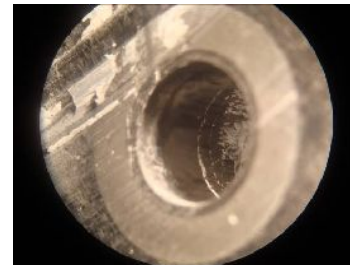
上杵側



フッ素複合メッキ



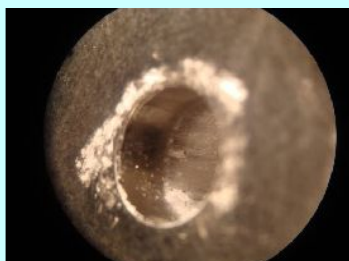
通常メッキ



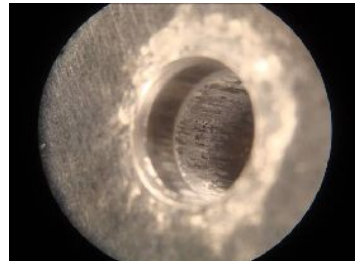
超硬合金

フッ素複合メッキ: 中心部に線状の付着が発生している。  
通常メッキ: 中心部全体に強い膜状の付着が発生している。  
超硬合金: 中心部全体に強い膜状の付着が発生している。

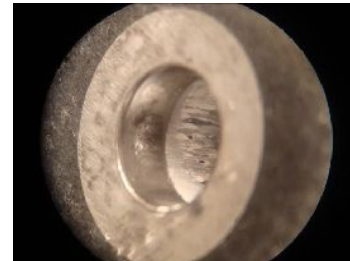
下杵側



フッ素複合メッキ



通常メッキ



超硬合金

フッ素複合メッキ: 中心部全体に薄い膜状の付着が発生している。  
通常メッキ: 中心部全体に強い膜状の付着が発生している。  
超硬合金: 中心部全体に強い膜状の付着が発生している。

以上の結果から、フッ素複合メッキ臼は、他の臼と比較すると中心部の付着が上杵側・下杵側共に少ない。